2013 未来をつなぐインターハイ

馬術部

インターハイの感想

今回のインターハイは三十一年ぶりの優勝をすることができてとても嬉しかったです。優勝をすることができたのは、自分達の力じゃなく、先生方や、保護者の方、ＯＢの方のおかげで優勝をすることができたので、本当に感謝しています。応援ありがとうございました。

グリーン環境科三年　中島　崇臣

私は今回のインターハイで試合に出ることはありませんでしたが、色々な馬や選手を見て沢山のことを学ぶことができたので、来年に繋げて初の二連覇を目指したいと思います。技術不足な私ではありますが、日々の練習に励み、少しでも戦力になれるよう頑張ります。

農業食品科二年　田代　まり

今回三十一年ぶりインターハイ優勝することができました。これも、先生方や、ＯＢの方々のご指導、応援があり、成し遂げることが出来たと思います。また、今回の結果に満足せず、来年も初の二連覇に向けてこれからも頑張っていきたいと思います。

農業食品科二年　池田　駿一郎

今回のインターハイで三十一年ぶりに二度目の優勝をすることができ、とても良かったです。優勝することができたのは、先生方、保護者の方々、ＯＢの方々の応援のおかげだと思います。また来年もインターハイがあるので二連覇を目指して日々の練習にしっかり取り組みたいと思います。

社会福祉科二年　榊　遼平

今回のインターハイは自分は試合に出ることはできませんでしたが、試合は貸与馬で一頭一頭のクセを見抜きその馬にあっている選手を選ぶなど、そのようなものを見て色々なことをたくさん学びました。来年は二連覇を目指し自分はまだまだなので日々練習で技量を磨き戦力になれるよう努力していきたいです。

農業食品科二年　園田　聖人

日本拳法部

第五十八回全国高等学校日本拳法選手権大会に出場して

日本拳法部主将　谷口　毅

八月七日、八日和歌山県和歌山市ビックホエールで行われた全国高等学校日本拳法選手権大会に参加しました。全国大会の当日会場に着き、その会場の大きさに驚きました。この場所で今から試合をするのか」と、気持ちが高揚すると同時に、今までの練習の成果が出せるのだろうかと不安に駆られましたが、ここまで来たのだから今の自分の力を全部出し切ろうと気持を切り替えました。

ウォーミングアップを終え、開会式に参加し、個人戦の本番を迎えました。一回戦、緊張もありましたが一回戦は何とか突破し、二回戦に進出、二回戦は、相手に攻撃の機会を与えないよう攻めに徹しましたが隙をつかれ面突きを奪われ、二本目も力負けし完敗となりました。負けを喫してしまいましたが、全国選手権大会に向けての厳しい練習や、全国大会出場選手の試合運びや拳技、足さばきやメンタル面の強さなどを垣間見ることができ良い経験となりました。

全国大会に出場できたことで、新たな目標もできました。それは、部員全員で全国大会に出場することです。現在、全国選抜大会の予選会である、熊本県高校日本拳法新人大会に向けて団体優勝、個人戦での全国選抜大会出場目標に部員全員一丸となって取り組んでいます。阿蘇清峰高校から繋がる強豪校としての伝統を守ると同時に、阿蘇中央高校日本拳法部の名を全国に轟かせるために、今回の全国大会での教訓を生かし、主将として気持ちを引き締め、部訓である「克己心」を忘れることなく、日々の鍛錬に努力精進していきたいと思います。

最後に、部活動を支えていただいている保護者の皆様や顧問の先生方に感謝すると共に、来年度の全国選手権での飛躍を誓い報告とさせていただきます。

剣道部

インターハイの感想

剣道部主将　大井　理緒

私は今年佐賀で行われた夏のインターハイで個人優勝をすることができました。県予選では団体戦で六連覇を止めてしまい、二位でインターハイへの出場が決まった個人戦は頭の中にありませんでした。「みんなと出場しなければ意味が無い。」と思っていました。ですが、監督の先生やコーチ、チームのみんなや保護者の方々など、たくさんの人々に支えて頂いて、「この人たちに恩返しをするには頑張るしかない。」と思い、必死に練習しました。県でもタイトルをとった事の無い私は、個人戦は苦手と思っていました。

佐賀の会場には、私は一人の為にみんな来ていただいて、応援席を見ただけで胸が熱くなりました。恩返しをする」それだけで試合をしました。個人戦の苦手な私も仲間が応援してくれていたので団体戦のような気持で試合が出来ました。

優勝をした時は何が起きたのかわからず、ただみんなの笑顔があり幸せな気持ちでした。この結果は本当に周りの方々の支えのおかげです。一試合目から見守り続けてくださった校長先生にも感謝の気持ちでいっぱいです。中学生だった私を高知から熊本に出してくれた両親の嬉し涙を見れたことも嬉しかったです。

大学でも感謝の気持ちを忘れず頑張りたいと思います。

応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

ボクシング部

インターハイの感想

ボクシング部　顧問　西垣　健三郎

北部九州インターハイのボクシング競技が佐賀県で開催され、農業食品科三年の山部建太郎が出場しました。一回戦、埼玉の花咲徳栄高校の選手と対戦でした。力の差はほとんど感じられませんでしたが、相手の手数の方がやや多く僅差で判定負けを喫してしまいました。

また、第六十八回国民体育大会が東京都日野市で開催され、同じく山部建太郎が出場し、高校生活最後の全国大会で何とか一勝をという思いで挑みました。一回戦は奈良県の選手でしたが、インターハイ同様、互いの力の差はなかったものの、微妙な判定で敗退となってしまいました。

残念ながら、目標の全国大会一勝はなりませんでしたが、今大会では、天皇・皇后両陛下がボクシング競技を観戦され、選手は間近で両陛下にお会いすることができました。私自身も両陛下の御前で試合のセコンドに付くという貴重な経験をすることができ、大変思い出に残る大会となりました。

柔道部

インターハイの感想

柔道部主将　杉本　祐海

昨年のインターハイで優勝し、今年は二連覇という目標をチーム全員でかかげてきました。また、春の全国高等学校選手権大会でも三位という悔しい結果で終わってしまったので、インターハイにかける思いは強かったです。しかし、結果はベスト一六という悔しい結果で終わってしまいました。高校最後のインターハイだったので、とても悔しかったです。でも、メンバー一人一人がを抱えながらでも一生懸命戦ってくれました。その姿を見てとても感動しました。

団体戦の後は、軽量級の個人戦だったのですが、メンバー全員が笑顔で試合に送り出してくれました。高校三年間、嬉しかった事、辛かった事、たくさんの思いを経験することができました。こうして仲間とともに日本一を目標に一生懸命取り組めたのも沢山の先生方や家族・仲間の支えがあったからこそだと思っています。

私は、とても良い環境に恵まれ、とても良い仲間や先生方に出会えてよかったです。阿蘇に来て本当によかったです。

大会結果

日本拳法

平成二十五年度熊本県高等学校学年別個人大会

個人　優勝　普通科三年二組　谷口　毅
3位　農業食品科二年　市原　聖矢
普通科一年一組　後藤　大樹
3位　農業食品科一年　入田　直樹

平成二十五年度熊本県民体育祭

団体　準優勝　谷口・藤井・市原・椎葉・宮本

平成二十五年度熊本県高等学校日本拳法秋期講習会

団体　優勝　谷口・藤井・市原・椎葉・宮本
個人　優勝　普通科二年二組　谷口　毅
準優勝　農業食品科二年　市原　聖矢
3位　普通科二年二組　藤井　治
3位　普通科一年一組　後藤　大樹
5位　農業食品科一年　入田　直樹
5位　農業食品科一年　山邉　雅弥

平成二十五年度熊本県下高等学校新人大会
第十回熊本県高等学校日本拳法新人大会兼
第十八回全国高等学校日本拳法選抜大会予選会

団体　優勝　市原・後藤・藤井・宮本・谷口
個人　優勝　農業食品科二年　市原　聖矢
3位　普通科二年二組　谷口　毅
3位　普通科二年二組　藤井　治
5位　普通科一年一組　後藤　大樹
5位　普通科一年一組　後藤　大樹

柔道部

平成二十五年度熊本県高等学校体育大会柔道競技

女子団体　優勝　普通科三年　杉本・上村・土井

陸上競技部

平成二十五年度九州高校新人陸上大会第予選

個人　男子100M準決勝進出　農業食品科二年　佐藤　拓己
男子　タイム　41位　郷・井・宇都宮・宮田・家入・井野・阿蘇品
女子　タイム　23位　中村・古澤・進・末吉・渡邉

平成二十五年度熊本県高校駅伝

女子砲丸投　7位　普通科一年一組　高橋　美紅
女子円盤投　6位　普通科一年一組　高橋　美紅

馬術部

ホースショーインくまもと

個人　小障害飛越競技L級A　少年の部3位　グリーン環境科三年　中島　崇臣
小障害飛越競技L級C　少年の部3位　グリーン環境科三年　中島　崇臣
低障害飛越競技　少年の部1位　農業食品科一年　宮崎　剣
少年の部2位　農業食品科一年　村田　剛
少年の部3位　農業食品科一年　園田　麗也

平成二十五年度熊本県高等学校体育連盟馬術競技新人大会

団体　総合優勝
個人　馬場馬術競技　2位　農業食品科二年　池田　駿一郎
標準障害飛越競技　1位　農業食品科二年　池田　駿一郎
クロスジムカーナ競技　1位　農業食品科一年　園田　麗也

ボクシング部

第六十八回熊本県民体育祭天草大会

ライト級　普通科二年　小野　大樹

平成二十五年度熊本県下高等学校新人ボクシング競技大会

フェザー級　3位　普通科二年　岩永　翔太

剣道部

新人戦

団体　準優勝（九州大会出場）
個人　準優勝　普通科二年　渡邉　サチ（九州大会出場）
3位　普通科二年　末吉　杏梨（九州大会出場）

その他

第十二回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト

全国大会出場　農業食品科二年　家入　奈美

平成二十五年度測量士補

合格　グリーン環境科二年　野田　真治

全国産業教育フェア
「高校生介護技術コンテスト熊本県代表選考会」

ベッドメーキング部門　最優秀賞　社会福祉科一年　大友　梨愛
優秀賞　社会福祉科一年　古閑　萌々花
介護技術部門　優良賞　社会福祉科一年　岩永　和
社会福祉科一年　中村　千紗